

## 平成 31・令和元年度 稲荷教育

京都市立稲荷小学校  
校 長 大野 利和

### 平成 31・令和元年度 京都市学校教育の重点

#### ＜京都市の目指す子ども像＞

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

- ◆京都が育んできた伝統と文化に立脚し、広い視野と豊かな感性をもち、よりよい人生や社会を創造できる
- ◆学校教育をはじめ様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
- ◆多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

#### ＜学校教育において重視する視点＞

- ◆子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める。
- ◆カリキュラム・マネジメントの視点のもと、PDCA を意識し、教育課程に基づき、組織的かつ計画的に日々の教育活動の質の向上を図り、子どもの姿や地域の状況に応じた創意あふれる取組を展開する。
  - 1 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
  - 2 日々の授業と家庭学習との連動を通して、**自学自習の習慣化**を図る
  - 3 自他を大切にすることを育成する
  - 4 「公共の精神」に基づく態度を育成する

#### ＜学校運営の柱＞ ～全教職員で進める確かな学校教育～

①子どもの命を守りきる ②すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める ③教育者としての職責を自覚し、資質・指導力を高めるとともに、働き方改革を進める ④校種間連携・接続を推進する ⑤「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う ⑥保護者・地域と連携・協働した取組を推進する ⑦関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する

### 本校が目指す教育

#### I 学校教育目標

**いきいき なかよく りそうに向かって 考動する子**

#### II めざす子ども像

い  
な  
り

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 「いきいき」                                      | ○心も体も元気な子       |
| 「なかよく」                                      | ○命ときまりを守りきる子    |
| 「りそうに向かって」                                  | ○目標をもって自ら学び続ける子 |
| 「いなり」                                       | ○学校・地域を愛する子     |
| ◎「 <u>考動</u> する」…「 <u>考えて行動する</u> 」(自己指導能力) |                 |

### Ⅲ 学校教育目標の具現化

